臨床研究情報

当院で膵液細胞診検査を受けられた方へご協力のお願い

NTT 東日本関東病院肝胆膵内科では、以下の臨床研究を実施しております。
この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者に当たると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身の診療記録を使用して欲しくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の問い合わせ先、もしくは倫理・医療監査委員会事務局へご連絡ください。

研究課題名

High risk stigmata 陽性 IPMN 患者の手術適応における膵液細胞診の有効性の検討

研究実施機関

NTT 東日本関東病院　肝胆膵内科
横浜市立大学附属病院肝胆膵消化器病学

研究責任者

NTT 東日本関東病院肝胆膵内科　藤田祐司

研究の意義と目的

膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）は、膵臓にできるのう胞で、健康診断などで偶然見つかることが増えています。多くは良性ですが、中には時間とともに変化するものもあり、慎重な経過観察が必要とされます。
診断の際には、画像検査に加え、膵液細胞診が用いられることがあります。しかし、手術の適応は複数の要因に基づいて慎重に判断されるべきであり、一律に決定できるものではありません。特にご高齢の方や持病のある方では、慎重に検討することが大切です。
本研究では、膵液細胞診の結果が治療方針の決定にどのように役立つかを検討し、より適切な診療につなげることを目指しています。

対象となる方

2015 年 5 月 1 日以降に内視鏡的逆行性胆膵管造影検査により膵液細胞診の検査を受けた患者さん。

実施方法

収集する情報は、基本情報（年齢、性別など）、上部消化管内視鏡検査に関する情報（検査日、発見された癌の有無など）、新しく発見された癌に関する情報（存在部位、組織型、治療方法、治療経過など）。情報収集の対象期間は、2015 年 5 月～2024 年 7 月です。

実施期間

本研究の実施期間は、研究機関の長の許可日から 2030 年 3 月 31 日までです。

個人情報の取り扱い

お名前やご住所など、特定の個人を識別できる情報は、匿名化して取り扱います。
学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。
また、本研究に関わる記録・資料は 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で破棄します。

費用

過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

利益相反

本研究は、特定の企業からの資金提供を受けておらず、利益相反に該当するものもありません。
これについては、NTT 東日本関東病院の倫理委員会で適切に審査されています。

同意の撤回

ご本人またはその代理人の求めがあれば情報を破棄いたします。ただし、すでに解析を終了している場合、その結果を破棄することが出来ません。ご自分のデータの使用をお断りになっても、治療に不利益を受けることはありません。

問い合わせ窓口

NTT 東日本関東病院　肝胆膵内科　藤田祐司
東京都品川区東五反田 5-9-22
電話番号　03-3448-6111（代表）